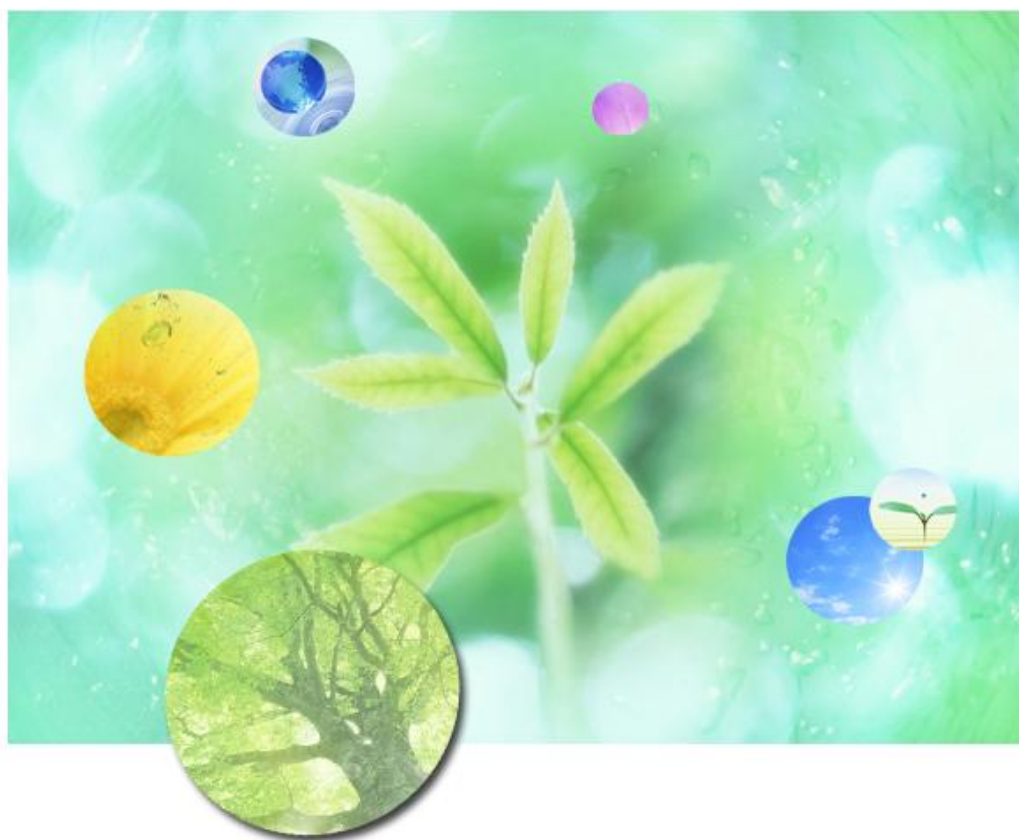


平成 23 年度

環境活動レポート

(対象：平成 23 年 8 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)



発行日 平成 23 年 11 月 11 日

改定日 平成 23 年 12 月 9 日

目次

1. 組織の概要.....	3
2. 環境方針.....	6
3. 環境目標.....	7
4. 環境活動計画.....	8
5. 環境目標の実績（試行期間）.....	10
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容.....	11
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無.....	12
8. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	12
9. 小さな社内取組.....	13
10. 地域環境維持についての考察.....	14

1. 組織の概要

1-1 事業所名・所在地

株式会社GEOソリューションズ

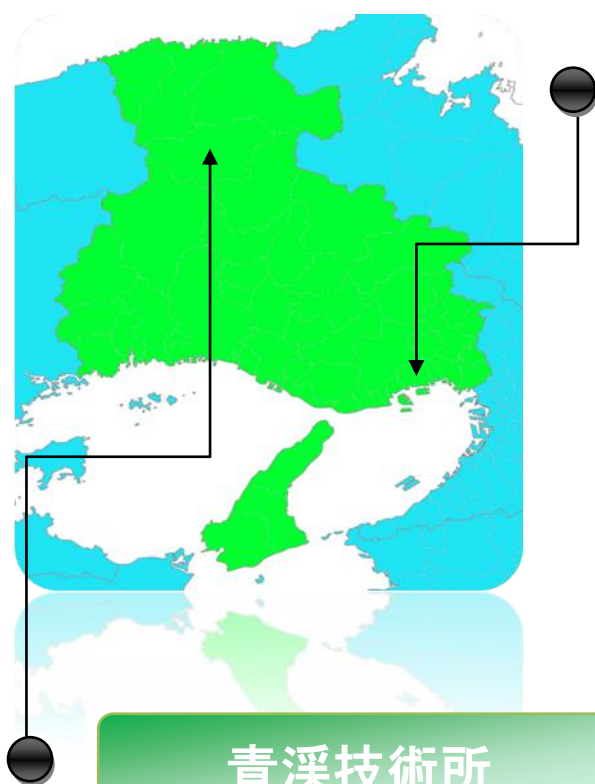
西宮本社 : 〒663-8243 兵庫県西宮市津門大箇町2番23号 TEL0798-37-1280

青溪技術所 : 〒667-0003 兵庫県養父市八鹿町宿南2589-1 TEL0796-63-2627

代表者 藤井達司

環境管理責任者 中田英子

担当者連絡先 TEL0798-37-1280 中田英子・秋山真穂



西宮本社



青溪技術所



1-2 事業の概要

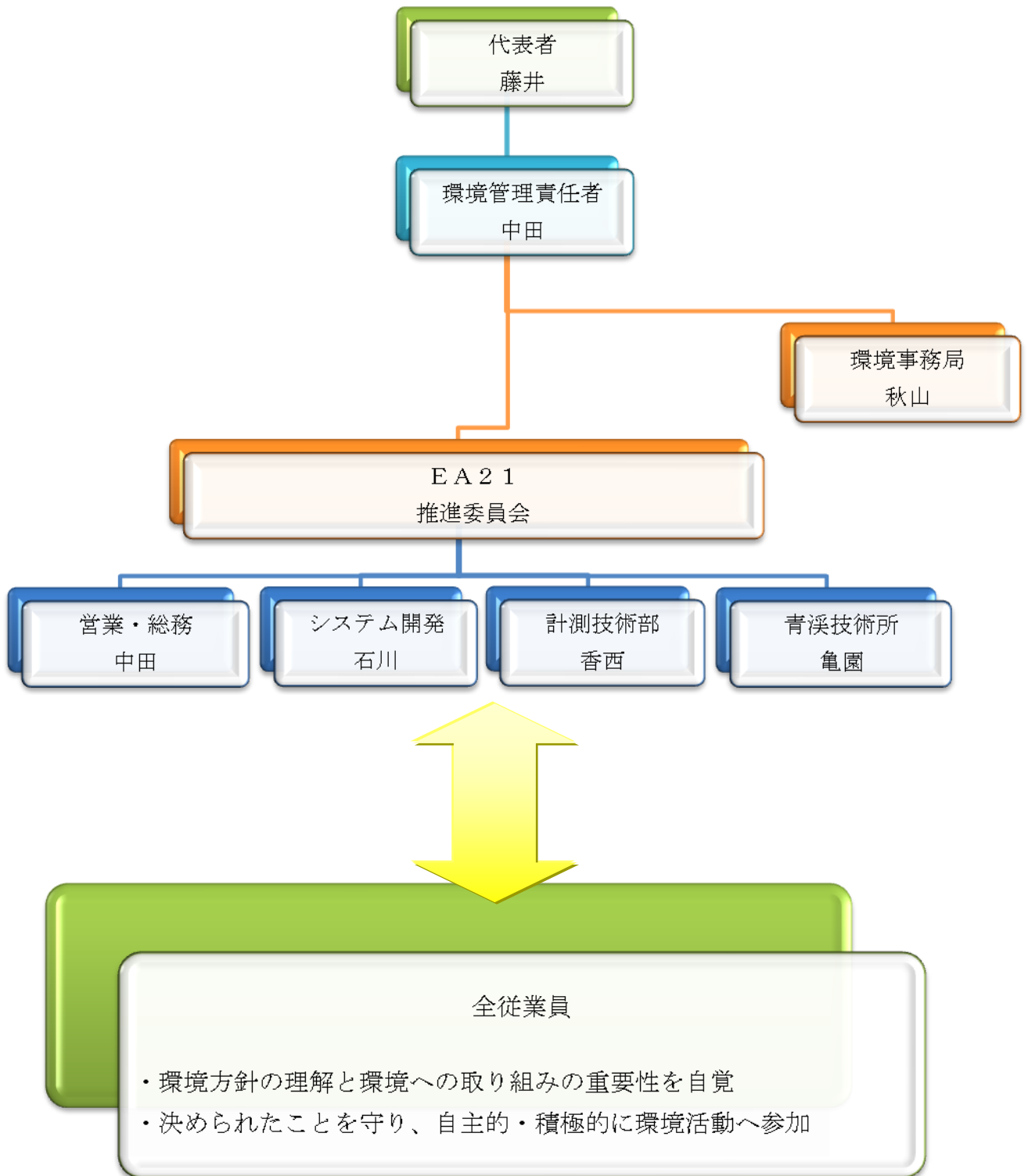
航空写真や衛星写真を利用し広域な地図データや、地図上で運用するデータの作成を中心に測量業と、地図を作成する図化ソフト・各種ツールといったCAD開発、地図を運用または地図を利用した分析・解析を行うGISソフト開発まで、地図にまつわる全ての業務に必要な作業を行なっております。



1-3 事業規模等

活動規模	単位	5期	6期	7期
		2008/10~2009/9	2009/10~2010/9	2010/10~2011/9
売上高	百万円	275	328	301
従業員	人	37	38	38
床面積(本社)	m ²	305	305	305
床面積(青溪)	m ²	—	257	257

1-4 組織体制図



2. 環境方針

環境方針

【基本理念】

株式会社GEOソリューションズは、現在の地球の環境を生命と考え、この生命を守ることは、我々自身を守る重要な要因だと位置づけております。

そのために自然環境（森を守る熊や鹿・昆虫・微生物に至るまで）を現状から損なわれていく状況を、微力ながらもくい止めるために貢献できることを常に考え、全社一丸となって自然環境の維持に自主的・積極的に取り組んでまいります。

【行動指針】

- ・使用電力の削減、自動車燃料の削減等を通じて二酸化炭素の排出を削減します。
- ・廃棄物の排出を低減します
- ・節水により排水の排出を低減します。
- ・発想力をもって工数の削減とクレーム0件に努めます。
- ・業務を通じて環境対策・防災対策等の基礎資料となる精緻な地図作りに努めます。
- ・環境に関する法規等の遵守を誓約します。

この環境方針は全ての従業員へ周知します。

制定日2011年6月23日
代表取締役社長 藤井達司

3. 環境目標



電力の削減

- ・2011年度は基準年度の5%削減
- ・来年度以降は前年度比の1%削減



自動車燃料の削減

- ・2011年度は基準年度比の維持
- ・来年度以降は前年度比の2%削減



一般廃棄物の削減

- ・2011年度を基準年度と設定
- ・来年度以降は基準年度以下の廃棄量



水道水の削減

- ・2011年度は基準年度比の1%削減
- ・来年度以降も前年度比の1%削減



事務用品のグリーン購入

- ・2011年度は基準年度比の1%増加
- ・来年度以降も1%ずつの増加



OA用紙の購入削減

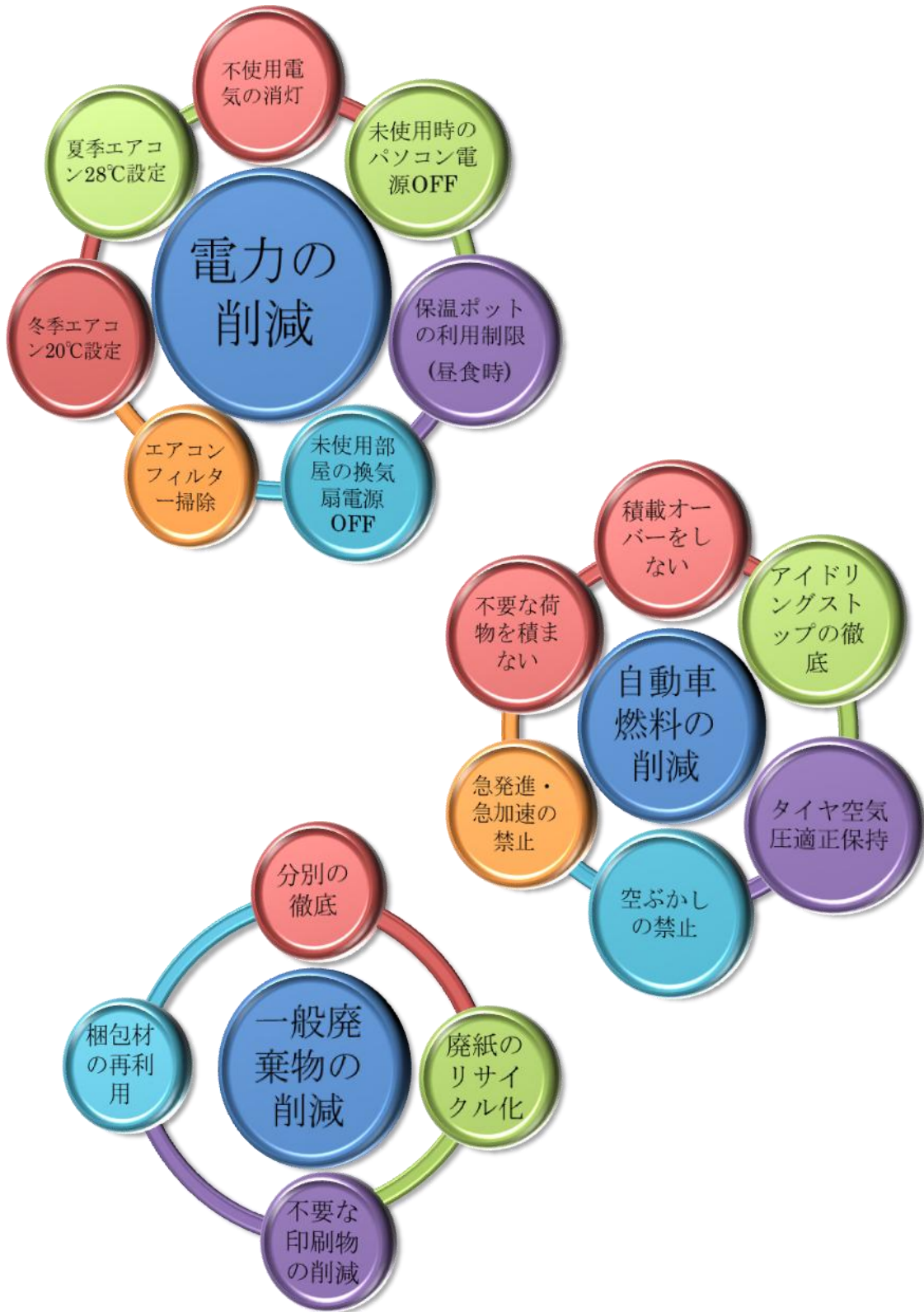
- ・2011年度は基準年度比の1%削減
- ・来年度以降も前年度比の1%削減

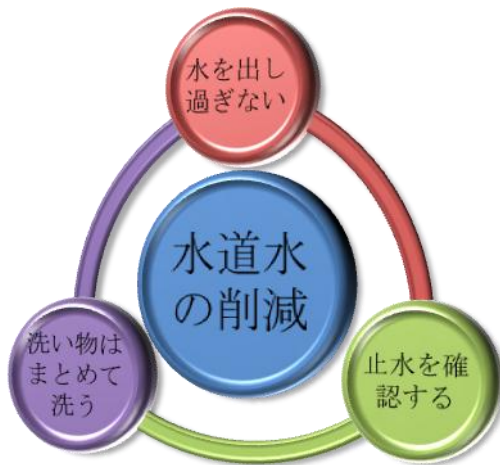


製品への環境配慮

- ・2011年度はクレーム件数0件
- ・来年度以降も同じくクレーム件数0件

4. 環境活動計画





5. 環境目標の実績（試行期間）

項 目	基準年度	試行期間の目標	試行期間の実績
	2010年8月～10月	2011年8月～10月	2011年8月～10月
電力の削減 基準年度比-5%	22,848 k W h	21,705 k W h	22,220 k W h
自動車燃料の削減 基準年度比 100%	1,877 L	1,877 L	2,121 L
一般廃棄物の削減	実績が無い為 基準年度 2011年	—	215 袋
水道水の削減 基準年度比-1%	40 m ²	39 m ²	38 m ²
事務用品のグリーン購入 基準年度比 101%	購入率 67%	購入率 68%	61%
OA用紙購入の削減 基準年度比-1%	557 k g	557 k g	293 k g
製品への環境配慮 クレーム件数 0 件	2 件	0 件	0 件

【参考】

二酸化炭素排出量への換算(購入電力の二酸化炭素排出係数：0.294kg-CO₂/kWh)

基準年度	11,077 kg-CO ₂
試行期間の目標	10,741 kg-CO ₂
試行期間の実績	11,457 kg-CO ₂

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標項目	取組	取組状況	評価
電力の削減	不使用電気の消灯	○	未達成 →過去に経験のない取組が幾つかあり、ポットや未使用時の電源 OFF のように取り組むべきだった事と、多くの PC 中で、28 度設定が仕事の支障をきたす可能性のあるものがあり、後者の改善を現状の取組に加え検討していきます。
	未使用時のパソコン電源 OFF	○	
	夏季エアコン 28℃	○	
	冬季エアコン 20℃	○	
	フィルターの掃除(年 2 回)	○	
	未使用部屋換気扇電源 OFF	○	
	保温ポットの昼食時のみ利用	○	
自動車燃料の削減	アイドリングストップ	○	未達成 →昨年度より作業所を養父市に設立し、社用車も増えた為、昨年との比較では達成できなかったのですが、安全にも繋がる内容なので、見直しせずに継続目標として取組みます。
	急発進・急加速の禁止	○	
	空ぶかしの禁止	○	
	タイヤ空気圧適正保持	○	
	不要な荷物を積まない	○	
	積載オーバーをしない	○	
一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	未達成 →梱包材の再利用等、一度に多くのストックになるような事もあり、作業のデメリットになる可能性もあり、今後検討を行います。
	廃紙のリサイクル化	○	
	不要な印刷物の削減	○	
	梱包材の再利用	○	
水道水の削減	水道水を出し過ぎない	○	達成 →洗い物程度で水の利用が少ない中での達成なので、目標の継続による意識改革に取り組めます
	止水を確認する	○	
	洗物はまとめて洗う	○	
事務用品の グリーン購入	グリーン購入品の指定	○	未達成 →購入依頼・購入者・受取者担当リスト作成し、2 重購入を防いだり、グリーン購入の言葉を知った者もあり、ようやく意識が高まっているため、目標と取組を継続します。
	担当者を決める	○	
	購入仕様書の理解	○	
	従業員へ周知	○	
	リサイクル品の購入	○	
OA 用紙購入の削減	コピー用紙の裏面使用	○	達成 →創業当時から継続し、皆さんの意識の中にも根付いている事ですが、新たに目標を掲げて行う事によりわずかに成果が出ましたので、今後も継続目標ですが社内伝達を分かりやすく進め、現状の取組みを推進します。
	使用量削減意識の徹底	○	
	印刷前の枚数大きさ確認	○	
	FAX 用紙裏紙使用	○	
	裏紙保管箱設置	○	
	用紙による会議資料の削減	○	
	極力電子媒体に記録する	○	
製品への環境配慮	誠実な作業の実施	○	達成 →クレーム 0 件でもあり、創業時からの方針です。変更ありません。
	発想力にて工数を削減する	○	

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況評価
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認	○
消防法	火災の予防	○
アイドリングストップ条例	停車中のアイドリングストップ規制	○
グリーン購入法	必要性を十分に考慮し、環境への負荷ができるだけ小さいものを購入する	○
地球温暖化対策法	温室効果ガス排出抑制	○

※過去に環境法規の違反・起訴はありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

スタートから数カ月を経過し、ようやく試行期間を終えました。今までになかったルールや、規程が新たに導入されました。その中には必要だと誰もが認識していた事や、やった方がいいのではないかと考えていた事もあるのですが、文章になる事によって浸透して参りました。まるで社会現象である『分煙』や『ポイ捨て禁止』がルール化されつつあるように.....

実績は小さなものや頑張らなければならないものもありますが、エコアクション21の導入による意識改革は、朝の清掃活動をとってみても我々のような小さな企業でも先進国の企業として、将来必要不可欠なものとして根がで始めたと感じる事ができ、大変有益に思っております。

1年前に青溪技術所を開設し、ガソリンや電気の使用量等も大幅に変化する中、前年度との対比できない事もあり、実施期間を終えた段階ではデータが少なく細かな分析もできない状況ですので、見直しについてはどの項目も行わず、最低でも1年を継続して行う事として、その後見直しの検討を行う事とします。

9. 小さな社内取組

青溪技術所は 360° 山に囲まれ、横には円山川が流れる環境で緑豊かな環境です、本社をおく西宮市も少しでも環境が良くなるように、社内やベランダに少しでも緑を置いて育てております。本当に大事に育てておりますので『幸福の木』においては花が咲くくらいです。他の草木も針金のような細い株を購入しているのですが、購入時の事が想像つかないくらい大きく育てております。

(花の咲いた幸福の木)



(ぐんぐん成長する草木)



また、小さなものですが自然に帰らないゴミもありますので、週の始まりは会社の周辺に関して清掃活動を行なっております。



10. 地域環境維持についての考察

私たちが本社をおく西宮市も40年程前は、環境等あまりふれられる事も無く、工場と遊技場が多く立ち並び、現在よりも空も海も川も汚く、公害を絵に描いたような灰色の環境でした。現在はマンションや公園で構成される公害の少ない環境になりましたが、この周辺では空き地も無くなりカマキリやバッタは見る機会は少なくなりました。

下記の写真は西宮市の市街地近辺で生存している身近な昆虫たちです。特に綺麗な昆虫を掲載しておりますが、まだまだ沢山の綺麗な昆虫が生存しております。残念なことに、数年前から見なくなったものもあります。どんどん人間の創造により生存できる生物が減少しております。こういった地球の仲間たちを少しでも守りながら企業は経済活動を行なう時代だと思います。我々も未来を見つめて少しでも地球環境に熟慮をしなければならないと痛感しております。

(毎年見られる昆虫たち)



(数年見られなくなった昆虫たち)



(このハンミョウは突然変異色?)



<http://www.geo-sol.co.jp/index.html>